

令和7年12月11日

令和7年度 第2回 大阪市立荻田小学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立荻田小学校

校 園 長 名 原 直 樹

| | | | |
|------------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|
| 日 時 | | 令和7年12月10日（水） | |
| 場 所 | | 大阪市立荻田小学校 会議室 | |
| 出席者 | 委員 など | 吉田晴加（会長） 木元祐規子（委員） 田中郁江（委員） 松下祥貴（委員） 龍神 央（委員） | |
| | 校 園 | 原 直樹（校長） 井関 繁（教頭） | |
| | 区役所 | 教育文化課 森 亜紀（係長） | |
| 議 題 | | 1 令和7年度「運営に関する計画」の中間評価について 2 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果について 3 意見交流 | |
| 協 議 要 旨 | | 協議の結果 | |
| | | 1 | 「運営に関する計画」の中間評価について説明した。 |
| | | 2 | 本年度の「全国学力・学習状況調査」結果について説明した。 |
| | | 3 | 意見交流を行った。 |
| | | 意見の概要 | |
| | | ○ あいさつをする児童が増えた。学校外でもあいさつをしてくれる児童が増えた。また、注意をしても素直に聞ける児童も多くなったと感じる。行事で来校した際も、友だちにやさしく声をかけたり、よりそったりしている姿を見かけた。いい雰囲気が出てきていると思う。 | |
| | | ○ プール改修工事が終了し、運動場が広がった。体育の時間や外で遊ぶ活動量が増えることで体力面での向上がみられるとよい。 | |
| | | ○ 高学年の方がコミュニケーションを苦手とする児童が多いような気がする。コロナ禍の影響もあるだろうが、いま進めている低学年からのペアトークやグループワーク等コミュニケーション力を上げる取組を続けていくことは大切。 | |
| | | ○ 理科は、学習が好きという回答が多いのに点数に結び付いていない気がする。「好き」という気持ちを大切にしながら取り組み内容や学習内容を進めてほしい。 | |
| | | ○ 働き方改革を進めるうえで、教科担任制や教材の共有化は有効だと思う。大変だとは思いますが、先生方の負担を減らす取組も進めてほしい。 | |
| | | ○ 学校選択制で、校区の児童の入学先、進学先がさまざまになってきているが、学校、保護者、地域も連携しながら子どもたちのために取り組んでいきたい。 | |
| 協 議 資 料 | | ○令和7年度「運営に関する計画」中間評価 ○令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 | |
| 備 考 | | 傍聴者[0]名 | |